

犠牲

罪の代価はすでに支払われた



マタイの福音書 26 - 27

マルコの福音書 14-15

ルカの福音書 22 - 23

ヨハネの福音書 13 - 19

第21課:犠牲

罪の代価はすでに支払われた

聖書

本	章	著者	年
マタイの福音書	26 - 27	マタイ	紀元50～60年頃
マルコの福音書	14 - 15	マルコ	紀元50～60年頃
ルカの福音書	22 - 23	ルカ	紀元60年頃
ヨハネの福音書	13 - 19	ヨハネ(使徒)	紀元85～90年頃

概要

イエスは弟子たちと最後の晩餐を共にし、ゲッセマネで苦悩のうちに祈られた。そして裏切られて逮捕され、宗教的権威とローマ当局の前で裁かれ、嘲られ、打ちのめされた。その後、エルサレム郊外で十字架にかけられ、借りた墓に葬られた。

レジュメ

最後の晩餐と裏切り

- イエスは過越の食事（最後の晩餐）を分かち合い、ご自身の体と血を象徴された - ルカ22:7-38
- 弟子たちの足を洗う — 謙遜と奉仕のリーダーシップを示す力強い行為 - ヨハ13:1-17
- ユダが裏切り者と判明。ペテロは忠誠を誓うが、イエスは彼が間もなく否むと予告される - ヨハ13:21-38
- ユダは宗教指導者たちと共謀し、イエスを裏切ることを選ぶ - マタ26:14-16
- イエスは弟子たちに、ご自身の栄光と去りゆくことについて語られる - ヨハ14-17

ゲッセマネと逮捕

- イエスはゲッセマネで苦しみながら祈られる — 「わたしの思いではなく、あなたの思いが行われますように」 - マタ26:36-46
- 弟子たちは祈りの最中に眠り込む — 彼らの弱さはイエスの献身と対照的 - マコ14:37-41
- ユダが兵士を連れて到着し、口づけでイエスを裏切る - ルカ22:47-53
- ペテロが大祭司の僕を斬り、イエスが彼を癒される - ルカ22:49-51
- イエスが捕らえられ、弟子たちは逃げる — 預言の成就と見捨てられ - マコ14:50-52

裁判と十字架刑

- イエスはサンヘドリンとピラトの前で裁判を受ける — 偽りの証人たちが告発 - ヨハ18:12-19:16
- ペテロは三度イエスを否認 — 恐怖と失敗の痛ましい瞬間 - ルカ22:54-62
- イエスは嘲られ、打たれ、いばらの冠を戴かれる — 想像を絶する屈辱に耐えられる - マタ27:27-31
- 自ら十字架を担いゴルゴタへ。キレネ人シモンが担ぐのを助ける - ルカ23:26-32
- イエスは十字架につけられる — 赦し、御霊を託し、「成し遂げられた」と宣言 - ルカ23:33-46

埋葬と沈黙

- イエスが息を引き取ると、神殿の垂れ幕が裂ける — 神への接近のしるし、義の認定 - ルカ23:45-47
- アリマタヤのヨセフの墓に葬られる - ヨハ19:38-42
- 墓に警備兵が配置される — 祭司長とパリサイ人の要請による - マタ27:62-66
- 弟子たちは嘆き、散り散りになる — イエスの死に悲しみと混乱 - ヨハ20:19

要点

1. イエスは自らの復活について大胆に宣言された。その言葉と死にまつわる出来事の両方から、彼が真に神の子であり、私たちの罪のための犠牲が完全であったと確信できる。
2. イエスは十字架の残酷さと恥辱に自ら耐え忍び、それは父なる神の愛に駆り立てられてのことでした。
3. その死は否定できません。それは歴史的事実として明確に目撃され記録されており、私たちの罪の贖いに対する確信と保証を与えてくれるのです。